

社会資本総合整備計画 事後評価

平成29年3月
【担当及び関係課】都市整備局緑化推進部公園整備課

計画の名称	水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進						
計画の期間	平成23年度 ～ 平成26年度 （4年間）						
計画の目標							
広島市は、水と緑が輝くうるおいのある国際平和文化都市の実現を目指し、豊かで美しい自然環境を生かしつつ、安全、快適で美しい都市景観を有する質の高い都市環境の創造に取り組んでいる。近年の地球温暖化やヒートアイランド現象等の環境問題への対応及び災害時における避難場所として公園緑地が大きな役割を果たすことが期待されており、都市における公園・緑地の更なる整備を進める。また、平和記念公園については、暗がりの解消のための照明施設の整備や、園路や便所のバリアフリー化などを行い、水と緑が輝く安全で快適なまちづくりを推進する。							
計画の成果目標（定量的指標）							
都市における水と緑の公的空間である公園・緑地面積をH23年度からH26年度までに9ha確保する。							
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値		備考
				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
				(H23当初)	－	(H26末)	
計画期間内に本市整備により供用開始される都市公園の面積。				－	－	7.75ha	

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H23	108 百万円	○基幹事業 当初の計画通り公園緑地の整備を実施した。 ・緑化重点地区総合整備事業（牛田地区）→牛田東第四公園の新設整備を行った。 ・都市公園事業（平和記念公園）→平和記念公園の照明灯新設などの整備を行った。 ・都市公園事業（河岸緑地）→東部河岸緑地、西部河岸緑地の整備を行った。 ○効果促進事業 当初の計画通り公園緑地の整備を実施した。 ・絵下山公園再整備事業→絵下山公園再整備を行った。 ・深川第七公園整備事業→深川第七公園の新設整備を行った。 ○H24に地域自主戦略交付金に移行した事業 当初の計画通り公園緑地の整備を実施した。 ・緑化重点地区総合整備事業（安古市地区）→上安第五公園の新設整備を行った。 ・寺山公園整備事業→寺山公園の園路・広場の整備を行った。
	H24	0 百万円	
	H25	104 百万円	
	H26	92 百万円	
		百万円	
	合計	304 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の効果の発現状況	○基幹事業 当初の計画通り、牛田東第四公園の新設整備、平和記念公園の照明灯新設などの整備、東部河岸緑地、西部河岸緑地の整備を実施し、水と緑が輝く安全で快適なまちづくりを推進した。 ○効果促進事業 当初の計画通り、絵下山公園の再整備、深川第七公園の新設整備を実施し、水と緑が輝く安全で快適なまちづくりを推進した。 ○H24に地域自主戦略交付金に移行した事業 当初の計画通り、上安第五公園の新設整備、寺山公園の園路・広場の整備を実施し、水と緑が輝く安全で快適なまちづくりを推進した。		
目標値の実現状況	指標： ・都市における水と緑の公的空間である公園・緑地面積をH23年度からH26年度までに9ha確保する。		
	最終目標値（H26末）	目標値と実績値に差が出た要因	目標未達成 要因： 当初、出島東公園（1.66ha）の整備を本計画内で実施予定であったことから、最終目標値に含めていたが、他の計画で実施することとなったため目標未達成となっている。 なお、出島東公園については、H28年度に開設している。
	9ha		
	最終実績値（H26末）		
	7.75ha		
要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況			

3. 今後の方針

今後も平成27年度より新たに策定している社会資本総合整備計画「水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進（Ⅱ期）」へ移行し、引き続き水と緑が輝く安全で快適なまちづくりを推進するための整備を行っていく。

4. その他特記事項